

講義名称	保育内容総論	担当教員名	黒田 淑子
科目群	専門科目 (M) CA1・DI1・DI2		
科目区分等	保育の内容・方法に関する科目 選択必修	単 位	1
対象学年次	2年・秋学期	ナンバリング	CMPM2120

授業のキーワード	「一人ひとりを大切に」保育環境を計画・評価、子どもの育ちに向かい合う保育を実践へと繋ぐ。
授業の概要	活動と保育環境の構成、保育者の援助、保育現場での事例や映像をヒントにイメージを膨らませ、実践へ繋げる。遊びを通して総合的に行う援助や指導と、保育者の役割について理解を示す。
期待される学習成果 (目標)	先の保育現場に夢膨らませる大切な時期、各論で学んできた事の総論として「保育内容総論」をしっかり学びます。こども理解・保育者としての役割・子ども達を育む保育・教育についてしっかり考え学ぶ。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション 保育内容総論の理解	・授業内容について理解します。 ・教育と保育を意図的に考える。
2	保育内容の歴史の変遷とその社会的背景	わが国における保育内容の歴史の変遷について理解する。
3	子どもの遊びと保育内容	遊びをどう捉え、遊びの中で育つ方とは、遊びにおける保育者の役割を考える。
4	養護と教育の一体性とは	養護と教育が一体的に展開、保育の内容が豊かに広げられるための確かな視点を持つ。
5	幼児教育において育みたい資質・能力	育てて欲しい10の姿を、子どもの姿の方向性と捉え、非認知的スキルにも着目する。
6	遊びを通じた学びと保育者の役割	遊びの特徴を知り、発達に応じたおもちゃや遊びの提供と保育者のかかわりを学ぶ。
7	環境を通して行う保育	事例や映像を通して環境を学ぶ。
8	子ども達の育ちと保育内容 (乳児)	生活や発達の連続性に考慮し、一人ひとりを大切にしたい保育を考える。
9	年齢と保育内容を理解する (幼児)	具体的な事例から、幼児の発達と保育内容はどのように関係しているのかを学ぶ。
10	保育の計画と観察	・領域の考え方と指導計画のポイント ・PDCAサイクルと保育の質の向上
11	保育における記録と評価	子どもの姿をよく見る保育、視点を捉えた記録の書き方、評価の重要性を理解する。
12	保育の一日の流れと保育内容	主体性・日課の繰り返し・見通しを考える
13	家庭・地域・小学校との連携	子どもの育つ現状理解と、相互理解、園を取り巻くネットワークについて考える。
14	多様な保育ニーズと保育内容	配慮を要する子どもの保育について学ぶ。 どのような支援ができるか。
15	保育内容の向上を目指して	これからの課題について学ぶ。 保育の質の向上。保育研修のあり方。

定期試験	筆記試験を行います。
授業時間外学習	保育者として自分の引き出しを増やす事を目的とし、本や絵本を読み、人に興味を持ち観察、話をして話を聞く事、意見を伝える事に慣れ、自分が楽しく遊べる大人になる様、日常的に感性を磨いておく。
評価方法	定期試験 50%、 授業態度 30%、 リアクションペーパー 20%
使用する教科書 (必ず購入してください)	使用しません。
参考文献	『子どもと共に学びあう演習・保育内容総論』 編者 井上孝之 山崎敦子 『演習 保育内容総論 保育の総合性を読み解く』 編者 神田信夫 高橋貴志 『乳児保育』 『幼児保育』 共に編者 吉本和子